



こんな事が目にとまり、こんな事を考えています



我が家の5人目の宝物！
H17年5月生まれの子
面白い子に育っています

1月13日付日経新聞一面は「少子化対策全国展開へ」「子育て世帯、買い物優待」とある。記事の中で子育て優待事業の先進県、富山・石川・山梨等8県を地図に表している。(他に4県の事業実績)石川県が平成18年1月から実施して全国に広がったとのこと。石川県の「プレミアムパスポート」事業は18歳未満の子供が3人以上いる世帯を対象にパスを発行。利用者は値引きやポイントの付与、金融機関での金利優遇などを受けられる。県内1,687店が参加。優待の内容はそれぞれの事業者が個別にきめる。岐阜県・富山県などは、子供が1人だけの世帯にもパスを発行している。国にとって財政支出がほとんどない点が大きな利点。対象世帯が地区の商店で買い物をするようになり経済効果があるとのこと。ただ東京、大阪などは対象世帯が多くパスを発行し管理するだけでも大変な為、事業は進んでいないらしい。一番進めたい大都市で進んでいないのが国として一大検討課題だとしている。何年前か、旧町時代ある議員が「いっぱい子供を産んだら勲章はやればよか」と言った。年配の人なので勲章は何より大きなものなのだろう。今の若い人に「勲章はやるけん子供は産んで」と言ったら笑い飛ばされそう。もちろんお金だけですべてが解決するとは言わないが子育てにお金がかかることは事実。諫早市の出産一時金も今回(H18年10月1日)から30万円から35万円に上がった。優待券なり何なり、子供を産み育て易い環境作り策を提言していきたい。

わたしの願い

それは家族の幸せ 友の笑顔
みんなと生きる 楽しく生きる
そのために 世界を平和にしよう
争いを 核兵器をなくそう

(平和都市諫早宣言より抜粋)

私は、高校が長崎市の浦上地区であったせいか、平和への関心は、ひととき高いようです。級友に被爆二世も多く、リベラルな校風もあって、ごく自然に「平和とは」等の話が交わされていたと記憶しています。また、父の妹も17歳で「原爆」の犠牲者となりました。実家には、女学校の制服を着た写真が飾られています。

今の時代に合うような自然体の「平和」への空気づくりをしてゆきたいものです。

基金が無くなる日

「諫早市総合計画」なるものを、そのまま現実に進めていった場合、H17年度に187億円あった基金が、H22年度には58億円になるということです。まだ58億円あると言うなにか、この内52億円は制度上切り崩せないお金で、実質6億円しか残らないということです。(行財政改革特別委員会の審議より)これはあくまで財政状況のシミュレーションですが、すでに過年度から本年度も来年度も、この基金の取り崩しがあって、そのお陰で単年度収支のバランスをとっているのです。今後、石油が噴き出すとか、宝の山が見つかる様な予想外の「お金」のプレゼントは見込めず、ならば、いかに「出」を切り詰めてゆくか、当局と、我々議会人のそのチェック機能の力量が問われます。



市の木

ヒゼンマユミ

市の木なので、「どこにでもあるのかなあ」と見回してみましたが、どこにでもある木ではなさそうです。せっきくの「市の木」市の象徴として、とらえていきましょう。かつて旧多良見町は「まき」が町の木でした。H5年だったと思いますが、町木「まき」をPRしようとの主旨で私の「まきの木通り」をつくったらどうかとの提案に、時の町長が「我が意を得たり」と役場通りとシーサイドのメイン通りにズラっと、まきの木を植えて頂きました。ヒゼンマユミは街路樹に適する木ではなさそうですが、どこかに市のシンボルとなるスポットをつくりたいですね。

きたじまもりゆき 履歴・プロフィール

家族構成	妻・子供5人(3男2女)
出身地	諫早市多良見町
生年月日	昭和31年6月5日
身長・体重	171cm・88kg(70kg台にしなくては...)
血液型・星座	O型・双子座
趣味	・ソフトボール・カラオケ・お話 ・ゴルフ(スコア110前後)
座右の銘	いつでも夢を
学歴	・喜々津小・喜々津中・長崎西高 ・日本大学法学部卒業
職歴	・宅地建物取引業 (会社員を経て昭和62年1月より) ・旧多良見町議会議員(平成3年初当選) ・諫早市議会議員(1期目)
議会所属委員会その他	・産業経済委員会委員 ・行財政改革特別委員会委員 ・県央地域広域市町村圏組合議会議員 ・喜々津中PTA会長 ・宅建協会諫早支部理事 ・遺族会喜々津地区会長 ・多良見町商工会理事

駅伝に市議会議員チーム

が出ています!

駅伝に出ると言っても当然のごとく私は走りません。いや走れませんが、体が重すぎます。ただ「議員チームを出そう!」の言い出しっぺではあり、その縁で監督をやっています。すでに平成18年1月の「高来駅伝」平成18年12月の「小長井駅伝」平成19年1月の「高来駅伝」と、3回の実績があります。選手はいずれも足自慢、心臓自慢の方々に、山口初實・土井信幸・藤田敏夫・中野太陽・黒田茂の各議員、補欠に市職員が2名います。ところが実際は過去3レース中2レースにこの補欠職員を起用したところ(藤田選手を負傷欠場により)がぜんレベルがアップし



主力選手を囲む、打上げ要員の優しい眼差し

上位とまではいかなくとも結構いいレースをしました。特に今年1月14日の高来のレースでは見た目は真ん中くらいの成績でした。